

第12号
平成29年3月

あさひかわ男女共同参画だより

ハーモニー

○平成28年度下半期の事業内容について報告します

- | | |
|---|-------|
| ・旭川市ワーク・ライフ・バランス推進事業者表彰 表彰式 | 1P～2P |
| ・平成28年度男女共同参画出前講座 | 3P |
| ・男女共同参画啓発ポスター（小・中学生向け）を作成しました | 4P |
| ・パパのための写真講座(男女共同参画研修会Ⅰ) | 5P |
| ・女子も男子も工学に親しもう！みんなで作ろうパスタブリッジ
(男女共同参画研修会Ⅱ) | 5P |

○御案内

- | | |
|----------------------------|----|
| ・旭川市ワーク・ライフ・バランスアドバイザーについて | 3P |
|----------------------------|----|

(発行)

旭川市総合政策部政策調整課（男女共同参画担当）
〒070-8525 旭川市6条通9丁目46番地
電話：25-5358

E-mail：seisakuchosei@city.asahikawa.hokkaido.jp

HP：http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/seisakuchosei/



平成28年度下半期事業の経過報告

平成28年11月以降の各種取組経過についてお知らせします。

◆平成28年度旭川市ワーク・ライフ・バランス推進事業者表彰 表彰式

平成29年2月8日に、平成28年度ワーク・ライフ・バランス推進事業者表彰 表彰式を行いました。

■旭川市ワーク・ライフ・バランス推進事業者表彰とは

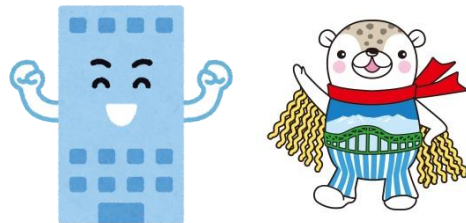
旭川市では、ワーク・ライフ・バランスに関する意識の向上や、男女が共に安心して働くことが出来る職場環境づくりを推進するため、平成28年度から「旭川市ワーク・ライフ・バランス推進事業者表彰」を創設しました。

表彰対象は、市内に主な事業所があり、「残業の削減」、「有給休暇の取得促進」、「仕事と育児の両立支援」など、ワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組んでいる事業者です。

平成28年度は、国立大学法人旭川医科大学様、株式会社ライナーネットワーク様、社会福祉法人北海道療育園様の3事業者を表彰しました。



表彰式では、表彰状と旭川市のゆるキャラあさっぴーをあしらった盾を贈呈しました。



西川市長と受賞者のみなさま(それぞれ向かって)

右お2人:北海道療育園様 中央お2人:ライナーネットワーク様

左お2人:旭川医科大学様



■ワーク・ライフ・バランスの重要性

適切な労働時間で働き、適度に休暇を取得することは、仕事に対するモチベーションを高めるとともに、業務効率を向上させる効果が期待されます。ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を推進すると、従業員の能力がより発揮されやすくなり、生産性の向上、収益の拡大、人材の定着や優秀な人材の参入、ひいては企業の成長・発展につながります。

一方、長時間労働やなかなか休暇が取れない現実があります。ワーク・ライフ・バランスが崩れた状態が常態化すると、従業員のメンタルヘル스에悪影響を及ぼし、生産性の低下や離職、従業員が定着しないことによる教育コストの上昇やイメージダウンなど様々な問題を引き起こす恐れがあります。

ワーク・ライフ・バランスの推進は、従業員にとっても、企業にとっても必要な取組です。

●受賞事業者の取組紹介

国立大学法人旭川医科大学様



- ・育児・介護休業法の規定を上回る育児・介護休業制度を整備している。
- ・事業所内保育所を設置している。
- ・二輪草センター（復職・子育て・介護支援センター）を設置し、復職支援プログラムの提供、キャリア相談の実施など復職やキャリアアップの支援を実施しているほか、バックアップナースシステム（急に子どもや家族の看病や介護が必要となった時に代理勤務者が勤務するシステム）、病児・病後児の預かりなど、子育てや介護に関する支援を実施している。

株式会社ライナーネットワーク様



- ・小学校入学前の子どもがいる社員には、個人の状況に応じ、時間短縮勤務を認めている。
- ・余裕のある人員配置を行い、育児中の社員を他の社員がフォローしやすい環境をつくっている。
- ・有給休暇は1時間単位で取得でき、新入社員に休暇制度に関する丁寧なガイダンスを実施しているほか、全職員に年2回程度、有給休暇の残日数や消滅期限を提示し、休暇の取得を促進している。

社会福祉法人北海道療育園様

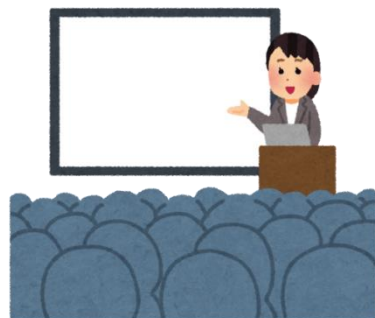


- ・採用時において、男性、女性ともに育児休業取得が可能であることを周知するなど、女性社員はもとより、男性社員の育児休業取得を促進する取組を行っており、男性社員の育児休業取得実績がある。
- ・事業所内保育所を設置している。
- ・監督者研修で年次有給休暇取得について取り上げ、各部署で取得の啓発を行い年次有給休暇の取得を促進している。



◆平成28年度男女共同参画出前講座(下半期)

受講団体 旭川市医師会看護専門学校
テーマ DV・児童虐待について
日時 平成28年12月1日 9:30～11:00
受講人数 23人
講師 子育て支援課職員
概要 児童虐待の未然防止とデートDVや配偶者等からの暴力被害者支援について



受講団体 旭川工業高等専門学校
テーマ ワーク・ライフ・バランスの推進について
日時 平成28年12月15日 15:50～17:00
受講人数 41人
講師 政策調整課職員
概要 男女共同参画の現状について
ワーク・ライフ・バランスの必要性について

受講団体(一社)生命保険協会旭川協会
テーマ 女性社員のキャリアデザイン
日時 平成28年11月29日 13:30～16:30
受講人数 27人
講師 社会教育部長, 政策調整課職員
概要 講話
男女共同参画の現状について
キャリアデザイン実習
ワールドカフェ

受講団体 旭川開発建設部
テーマ ワーク・ライフ・バランスの推進について
日時 平成28年12月16日 13:30～15:00
受講人数 49人
講師 日本政策金融公庫旭川支店
中小企業総括課 上席代理 本間 涉さん
政策調整課職員
概要 ワーク・ライフ・バランスの必要性について
ワーク・ライフ・マネジメントの取組について



◆旭川市ワーク・ライフ・バランスアドバイザーについて

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に配慮した職場環境づくりに取り組もうとする事業者に対して、ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを派遣します。

支援内容

- ・労働時間の短縮、業務効率の改善その他生産性の向上
- ・年次有給休暇の取得促進
- ・育児や介護・看護のための休業制度の導入及び活用
- ・就業規則等の整備・見直し
- ・女性の活躍促進
- ・その他ワーク・ライフバランスの推進

お気軽にお問い合わせ
ください

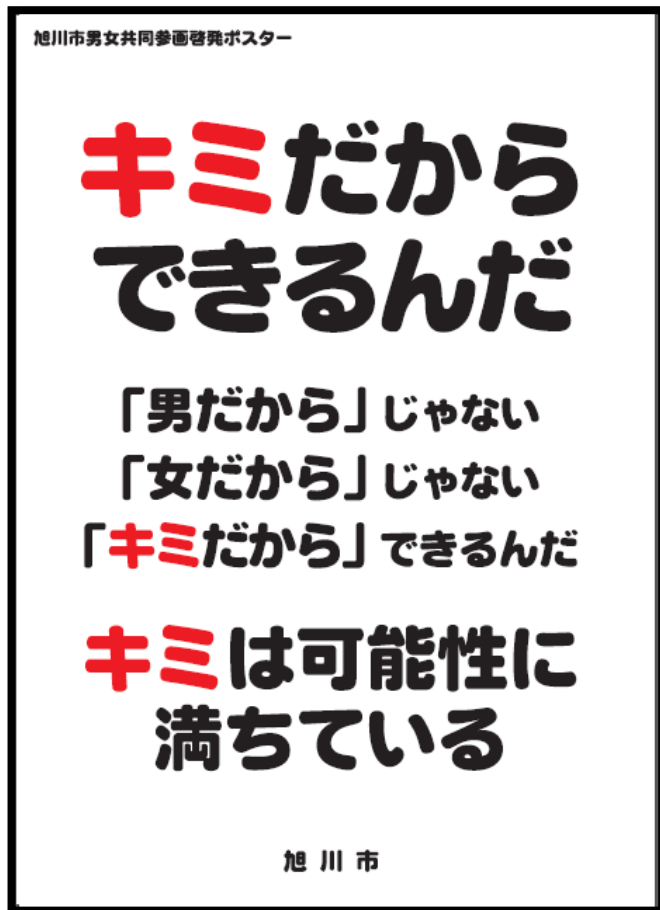
◆男女共同参画啓発ポスター(児童・生徒向け)を作成しました

男女共同参画啓発ポスターを作成し、市内各小中学校に配付をいたしました。

ひとりひとりがかけがえのない存在であり、社会的に形成された役割分担にとらわれることなく、それぞれの能力や個性を発揮して活躍してほしいというメッセージをポスターに込めました。

小学校に配付

小学校・中学校に配付



ポスターに込めたメッセージ

好きなことや得意なことは、みな違っている。もちろん性別によって決まらない。何が好きでも、何が得意でも、それは全部すばらしい個性。ひとりひとりみな違って、ひとりひとりみなすばらしい。自分の得意なこと、好きなことを大切にしよう。自分の個性や能力を十分に発揮して、いろいろなことにチャレンジしよう。

だれもがみなその人にしかないすばらしい個性と能力を持っている。キミは、キミにしかないすばらしい個性と能力を持った、可能性に満ちた存在。キミの個性や能力は、「キミだから」持っているもの。キミが可能性に満ちた存在なのは、「キミだから」。性別が理由ではないし、もちろん他の理由でもない。キミだからできることがたくさんある。自分の可能性を信じて、いろいろなことにチャレンジしよう。

◆男女共同参画研修会Ⅰ パパのための写真講座 (inまなびピア)



平成29年2月11日(土)に、「パパのための写真講座」と題し、カメラマンの今津秀邦さんを講師に迎え、子どもの写真撮影を上手に行うコツを教えてくださいました。

この講座は、家族写真の撮影を通じ、父と子の触れあう時間を増やし、男性の家庭参画を進めることを目的に開催したものです。お父さんと一緒に参加されたお母さんも多くいらっしました。

講師の今津さんから、子どもの写真撮影のポイントについて講義を受けた後、まなびピアで開催されていた「ミニバリアフリーおもちゃ博」で、旭川家具のおもちゃなどで遊ぶお子さんを、お父さん・お母さんに実際に写真撮影をしていただきました。どのご家族も素敵な写真が撮影出来ました！

旭川市生まれ・旭川市在住のカメラマン。2002年より旭山動物園のポスターやパンフレットを担当されています。旭山動物園関連では、海外のTIME紙や書籍、商品等への提供多数。映画「旭山動物園物語 ペンギンが空をとぶ」では、本編の動物撮影やポスターを担当。近年では、映画「生きとし生けるもの」の監督も務められました。



講師
今津秀邦さん

【撮影のポイント】

- ・カメラを子どもの目線と同じ高さにして写す。
- ・子どもだけではなく、一緒にいた人、周りの風景も入れて写す。
→その日のことを思い出せる一枚になります。

家族の写真は、普段目に触れるところに飾りましょう！

仕事で無理をしないなど、自分を大切にできるようになります。

◆男女共同参画研修会Ⅱ 女子も男子も工学に親しもう！強度No.1は誰の橋？ みんなで作ろうパスタブリッジ

平成29年3月26日(日)に、「女子も男子も工学に親しもう！強度No.1は誰の橋？みんなで作ろうパスタブリッジ」という講座を実施しました。

日本の研究者における女性の割合は低く、特に理工系分野では女性が少ない現状にあります。そこで、早い段階で理工学に触れ、興味・関心を持ってもらうことを目的にお子さんに工学に親しんでもらう講座を実施したものです。

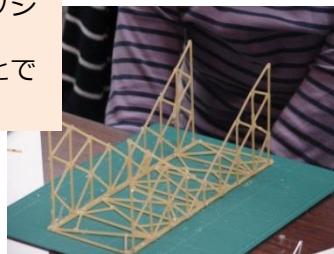
旭川市工業高等専門学校准教授の石向桂一さんを講師としてお招きし、参加者がそれぞれ乾燥パスタをホットボンドで接着して、強度が増すよう工夫して自らデザインしたミニチュアの橋を製作し、重りを吊してその強度を競いました。

何も加工していないパスタ2本で、どれくらいの重さに耐えられるか実験したところ、重り1個(29.3g)にも耐えられませんでした。今回、参加者が製作した橋の中で最も強い橋は、60個もの重りに耐えることができました。作り方・組み立て方を工夫すると、こんなにも強い構造物を作ることができることがわかり、参加者からは、「楽しかった」、「工学に興味をもった」との感想が寄せられました。

どう組み立てたら丈夫になるかな？



パスタブリッジ
作成中
もうちょっとで
完成です！



重りを載せて
強度の計測中
何個載るかな？

